

モデル事業一覧

テーマ	
1.開催場所	A.空港で開催したい
	B.人が集まる場所で開催したい
2.事業実施者	C.複数の事業者で連携して実施したい
	D.航空会社が単独で実施したい
3.対象者	E.小学生に航空・空港を知ってもらいたい
	F.小学生に深く航空・空港を理解してもらいたい
	G.中・高生に航空・空港を好きになってもらいたい
	H.中・高生に航空・空港に夢中になってもらいたい
※【参考】予算規模	I.予算【高】で実施する場合
	J.予算【中】で実施する場合
	K.予算【低】で実施する場合

モデル A.空港で開催したい ～航空・空港の全部が分かる場所を提供～

- 具体案
 - ・空港の制限エリアやお仕事の裏側をみて知識を深める。
(番外編として空港外にある企業や施設の見学)
 - ・展示やラリーはクイズなど楽しみながら学べる工夫。
※企画に統一の「テーマ」(ゲーム性)を設定し、学ぶ意欲を高める。
- 費用感: 高
(制限区域の要員確保、輸送車両手配、展示物制作など)

タイムスケジュール例

早 朝	滑走路ランウェイウォーク
8:00-9:00	空港で朝食
9:00-10:00	展示イベント
10:00-11:00	航空教室
11:00-11:20	お仕事ウォークラリー

① 滑走路ランウェイウォーク



② 航空教室



⑤ お仕事ウォークラリー



⑥ 展示イベント



【実施における工夫】

- ・空港で実施することの利点を活かし、空港を支える業務に従事する説明員の生の声や実際の作業風景の見学などを取り入れることにより、空港を支える業務に接する機会をつくる。
- ・複数メニューを実施することが可能なため、集客力は高いが、単体では職業観形成にアプローチすることが難しいメニューでも、空港を支える業務に触れられるメニューと組み合わせることができる。

モデル B.人が集まる場所で開催したい ～広くPRができる場所で開催～

- 具体案
 - ・多種多様な人が交差するチカホや、地域の子供が集まる自治体主催のお祭りなど、イベントでの出展。
 - ・学校などでの出前授業。
- 費用感: 中～低(自社のコンテンツを活用)

タイムスケジュール例

開催中	出展
	・展示、お仕事体験のブース
	・記念撮影会
随 時	ステージイベント

④ お仕事体験



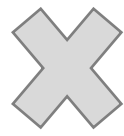
⑦ 記念撮影会



⑥ 展示イベント



⑧ ステージイベント



【実施における工夫】

- ・学校で実施する際は、ターゲットが明確であり、より職業観の形成を意識したメニューづくりを心がける。
- ・自治体のお祭りでは、ターゲット以外の集客も見込まれるので、多くの方が興味を引くコンテンツを用意した上で、関心を示した参加者に、コアなアプローチができるよう誘導ルート(お仕事体験)を用意する。

モデル C.複数の事業者で連携して実施したい

○ 具体案

- ・閑散期など、企業毎に余力のある時に「第二の空の日イベント」を開催。

○ 費用感：高～中（展示の造作や制作物を折半してコストダウンも）



【実施における工夫】

- ・複数事業者で実施する利点を活かし、各事業者の役割分担を明確にして、広告方法、メニューの内容や難易度、メニューの組み合わせなどを幅広く設定し、職業観形成に繋がるコンテンツを提供する。
- ・各事業者の役割分担に加えて、各事業者の連携により経費削減や内容の充実、訴求力アップなどが行えないかを検討する。

モデル D.航空会社が単独で実施したい ～保護者が子供の夢、背中を押せる場所の提供～

○ 具体案

- ・子供たちだけでチャーター便を飛ばし、飛行機を飛ばすまでの業務を体験。
- ・保護者がお客様役となり機内の実務を疑似体験。
- ・記憶に残る機内での航空教室。

○ 費用感: 高～中(実施内容により費用削減も)

タイムスケジュール例

※お仕事体験の例

- 14:00 参加者へ搭乗券配布
- 14:30 保安検査 補助
- 15:00 搭乗案内アナウンス
- 15:30-16:30 遊覧飛行(航空教室)
- 機内アナウンス 補助
- 機内清掃 補助
- (ゴミチェック、シートベルトセット)

② 航空教室



④ お仕事体験



【実施における工夫】

- ・実施できる内容が限られるため、航空会社の知見などを活かし、職業観形成にどのようにアプローチしていくかを検討する。
- ・飛行機を活用したメニューを作り、機内だけでなく、空港を支える業務と絡めた一体的なメニューを意識。

モデル E.小学生に航空・空港を知ってもらいたい ～知るきっかけの場所を提供～

- 具体案
 - ・飛行機のことが分からなくても楽しみながら学べる折り紙ヒコーキ教室。
 - ・友達みんなとの記念撮影会。
- 費用感: 低(自社コンテンツを活用)

タイムスケジュール例

10:00 折り紙ヒコーキ教室
11:00 記念撮影会
11:30 空港売店でグッズを買おう

③ 折り紙ヒコーキ教室



⑦ 記念撮影会



⑧ グッズ販売



【実施における工夫】

- ・対象が小学生かつ航空業界を認知する導入部分になるため、まずは興味を引くコンテンツの用意を心がけるとともに、エンターテインメントとして終わらせるのではなく、学びの要素を盛り込むことで、効果的に認知してもらうよう意識する。

モデル F.小学生に深く航空・空港を理解してもらいたい ～学べる場所の提供～

○ 具体案

- ・空港の制限エリアでの特別な学びの体験。
- ・折り紙ヒコーキを使って飛行機に関するいろいろなお仕事を知ろう。

○ 費用感: 高

(制限区域の要員確保、輸送車両手配など)

タイムスケジュール例

05:45	集合
06:00-08:00	滑走路ランウェイウォーク
08:30-09:30	折り紙ヒコーキ教室

解散後、空港内で親子で朝食をとり、
空港滞在時間を延ばす。夏休みの思い出に。

① 滑走路ランウェイウォーク



③ 折り紙ヒコーキ教室



【実施における工夫】

- ・滑走路ウォークの前後に、折り紙ヒコーキ教室を開催し、滑走路の管理業務やGSE車両に関する説明をし、実際目で見ることによって理解度をアップ。
- ・折り紙ヒコーキを使って、離陸から着陸までのシミュレーションを実施するなど、実際の仕事との関連についてイメージを持たせる。

モデル G.中・高生に航空・空港を好きになってもらいたい ～楽しみながら職業観を形成できる場所の提供～

- 具体案
 - ・航空・空港のお仕事ってどんな内容か知ろう。
 - ・自分に向いている空港のお仕事を見つけよう。
 - ・流行の心理テストで適正診断！（興味を引く）
- 費用感：中（展示物の制作やラリー内容の企画）

タイムスケジュール例

14:00 お仕事体験

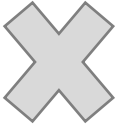
15:00 お仕事ウォークラリー
※心理テストで適正チェック

16:00 展示イベント

④ お仕事体験



⑤ お仕事ウォークラリー



⑥ 展示イベント



【実施における工夫】

- ・お仕事体験では、空港を支える業務に従事する説明員から仕事のやりがいを話し、将来をイメージしやすくする。
- ・お仕事ウォークラリーは、心理テストを盛り込んで、ワクワクする内容とする。
- ・展示イベントでは、広く業務を知ってもらいつつ、その後に繋げるため、空港を支える業務に従事する説明員を配置して、学生とのコミュニケーションを図る。

モデル H.中・高生に航空・空港に夢中になってもらいたい～より深い学びの場所、職業観形成の場所を提供～

○ 具体案

- ・より専門的な理解を深める航空教室。
- ・実際のお仕事を疑似体験。
- ・学んだことを復習できるようなクイズ形式の展示。
さらに深掘りできるコアな内容も。

○ 費用感: 中(展示物の制作、教材制作など)

タイムスケジュール例

14:00 航空教室
※心理テストで適正チェック
15:00 お仕事体験
16:00 展示イベント

② 航空教室



④ お仕事体験



⑥ 展示イベント



【実施における工夫】

- ・モデル Gで楽しみながら学んだ生徒向けとして、以下のとおりカスタマイズ。
- ・航空教室では、就職までの進学や学科の説明、業務の魅力について説明。
- ・お仕事体験では、体系的な航空知識の習得を目指し、実際の仕事も見学。
- ・展示イベントでは、説明員を当てて業務のやりがいについて話をする。

【参考】モデルⅠ.予算【高】で実施する場合

○ 具体案

- ・滑走路ランウェイウォーク
- ・飛行機と綱引き(成田空港で実施)。
- ・みんなで大きな飛行機を引っ張ろう！

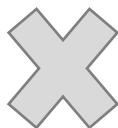
タイムスケジュール例

05:45 集合

06:00 滑走路ランウェイウォーク
飛行機と綱引き

解散後、空港内で親子で朝食をとり、空港滞在時間を延ばす。夏休みの思い出に。

① 滑走路ランウェイウォーク



飛行機と綱引き



(出典)毎日新聞

【実施における工夫】

- ・滑走路の見学のみならず、綱引きや格納庫の見学により飛行機の大きさを体感させる。
- ・グランドハンドリング業務についても、GSE車両、航空灯火などの説明を通じて学ぶ。

【参考】モデル J. 予算【中】で実施する場合

○ 具体案

- ・ラリーイベント、展示、撮影会。
- ・制服を着用してクイズ付きのパネル展示に挑戦。
- ・ゴールできたらマスコットと記念撮影。

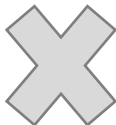
タイムスケジュール例

- 09:00 制服を着用
- 09:30 展示イベント(ウォークラリー)
- 10:30 記念撮影会

⑤ お仕事ウォークラリー



⑥ 展示イベント



⑦ 記念撮影会



【実施における工夫】

- ・展示には複数の説明員を配置。クイズ正答後の補足説明により理解を深める。
- ・ゴール証明書とクイズの復習ができる冊子を配布。自宅での振り返りをしてもらう。

【参考】モデル K.予算【低】で実施する場合

○ 具体案

- ・子どもに人気のバトル要素を取り入れ、折り紙ヒコーキで主催者と対決。
- ・ステージイベントとして対決を実施。

タイムスケジュール例

09:30 航空教室

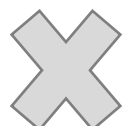
10:30 折り紙ヒコーキ教室

ステージで飛行機バトル

② 航空教室



③ 折り紙ヒコーキ教室



⑧ ステージイベント



【実施における工夫】

- ・参加者が作った折り紙ヒコーキを使って、離陸から着陸までのシミュレーションも実施。実際の仕事との関連についてイメージを持たせる。
- ・ステージイベントの集客力を活かし、観客へ他のイベントへの流動を促す。